

(インドネシア) - 1 件

1. 5 地熱鉱区で開発許可証発行

2019年6月19日



(写真:イダ地熱局長 (Ida Nuryatin Finahari))

エネルギー地熱鉱物省 (ESDM) 再生可能エネルギー・省エネルギー総局 (EBTKE) のイダ地熱局長は、地熱発電能力を増強するために、少なくとも 5 つの地熱鉱区の開発許可を今年中に発行すると発表した。

イダ地熱局長によると、同省は、国営電力会社 PLN (PLN: PT Perusahaan Listrik Negara) にスラウェシ南東部に位置するライネア (Lainea) 鉱区 (20MW) を、国営企業プルタミナの子会社であるプルタミナ・ジオサーマル・エナジー社 (PGE: PT Pertamina Geothermal Energy) に北スラウェシに位置するコタモバグ (Kotamobagu) 鉱区 (140MW) を割り当てたとした。

国家エネルギー計画 (RUEN) に基づいて、政府は 2025 年までに地熱発電のエネルギーミックスに占める割合を 7,200MW と目標にしている。この目標は、PLN の電力供給事業計画 (RUPTL) に記載されている 6,300 MW より高い。現在、地熱発電容量は 1,948.5 MW。同省は、2019 年の地熱発電容量を 180 MW 増加させることを目標にしている。

また、2019 年 7 月には、4 つの地熱鉱区 (WKP) で入札が行われる予定。

- ① 西ヌサ・トゥンガラ州スンバルン (Sembalun) 鉱区 (100MW)
- ② 北マルク州テラガ・ラヌ (Telaga Ranu) 鉱区 (85MW)
- ③ 西ジャワ州グヌン・ガロンゲン (Gunung Galunggung) 鉱区 (160MW)
- ④ 東ジャワ州でグヌン・ウィリス (Gunung Wilis) 鉱区 (50MW)

(出典:6月19日付 Bisnis.com ジャカルタ)